



PRESS RELEASE

報道関係各位

2019年9月27日

カリフォルニアワイン協会 日米貿易協定(日米 FTA)を歓迎

カリフォルニアワイン協会(California Wine Institute、略称 CWI)は、安倍晋三首相とドナルド・トランプ米大統領が9月25日(米国東部夏時間)にニューヨークにて最終合意した日米貿易協定を歓迎する声明を発表しました。

カリフォルニアワイン協会の最高経営責任者であるロバート・P・コッチはこのように述べています。

「日本はカリフォルニアのワイナリーにとって極めて重要な市場ですが、米国はこれまで一般税率15%の輸入関税が適用される唯一の主要ワイン生産国でした。私共は、ワインを含む米国産農産物の関税を引き下げる本協定の合意を喜ばしく思います。

この新しい貿易協定は、日本のワイン市場における競争条件を平準化し、日本の消費者がカリフォルニアワインの高品質と多様性を楽しむ、より多くの機会を提供することでしょう。今後、日米両政府が本協定の早期発効に向けて前進することを期待しています。」

日米貿易協定下の最終的な関税率表と非関税措置に関する情報はまだ公開されていませんが、米国産バルクワインの関税は発効時に即時撤廃、ボトルワインの関税は発効時から段階的に引き下げられ、2025年度に撤廃される見込みです。

1934年に設立されたカリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界13カ国に事務所を置き、重要な市場情報の提供及びプロモーションを支援しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年175以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、138か国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に1985年に設立されました。

この件に関する読者からのお問合せ先
カリフォルニアワイン協会日本事務所
E-mail: info@calwines.jp
電話番号: 03-3208-5672

この件に関する報道関係者様からのお問合せ先
KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり
E-mail: saori@saorikon.com
電話番号: 080-7011-5747